

2005 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	都市景観小委員会	主 査 名：後藤 春彦 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海 邦碩 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日々の暮らしを包み込んでいる「生活景」に市民権を与え、生活景向上のための景観計画の発展方向について議論を進める。 ・2005 年度：OS の開催。2006 年度：PD の開催。2007 年度：PD の開催。2008 年度：本の出版、研究協議会の開催。各年度：景観ルックインの開催。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り	
	後藤春彦 (早大)、小林敬一 (東北芸工大)、志村秀明 (芝浦工大) 浅野聡 (三重大)、岡田雅代 (プランニングラボ)、嘉名光市 (大阪市立大)、三宅諭 (岩手大)、山中知彦 (都市建築研)、熊野 稔 (徳山工専)、和田幸信 (足利工大)、鶴心治 (山口大)、宇於崎勝也 (日大)、中林浩 (平安女学院大)、野中勝利 (筑波大)、宮脇勝 (千葉大)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し (2005 年度に新体制でスタートしたため。活動計画の共有を図っている。)	
2005 年度予算	280,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価						
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)						
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し						
講習会	無し						
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. 景観ルックイン「京都都心居住地・姉小路界限」</td> <td style="text-align: right;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">50 名</td> </tr> <tr> <td>2. 景観ルックイン ミニシンポジウム</td> <td style="text-align: right;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">50 名</td> </tr> </table>	1. 景観ルックイン「京都都心居住地・姉小路界限」	参加者数	50 名	2. 景観ルックイン ミニシンポジウム	参加者数	50 名
1. 景観ルックイン「京都都心居住地・姉小路界限」	参加者数	50 名					
2. 景観ルックイン ミニシンポジウム	参加者数	50 名					
大会研究集会	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. オーガナイズドセッション 景観行政の展望に向けて</td> <td style="text-align: right;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">70 名</td> </tr> </table>	1. オーガナイズドセッション 景観行政の展望に向けて	参加者数	70 名			
1. オーガナイズドセッション 景観行政の展望に向けて	参加者数	70 名					
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し						
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当初の計画通り、大会期間中にオーガナイズドセッションを開催した。都道府県と市区町村レベルでの景観条例の役割、住民発意の施策、地区計画と連動した景観地区指定について報告され、活発に議論された。 2. 催し物として「景観ルックイン」を開催し、盛況であった。 						
委員会活動の問題点・課題	特になし						

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。